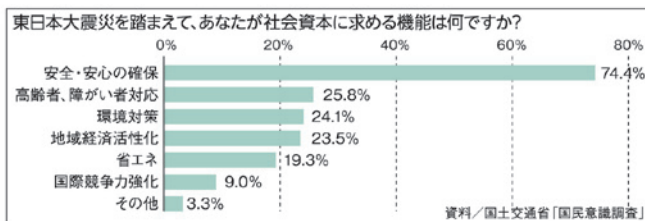


## 01 「平成23年度国土交通白書」を7月6日に公表しました!

被災地の復興を考えることは、人口減少、高齢社会、財政制約、エネルギー制約、さらには自然災害のリスクの中で、「持続可能で活力ある国土・地域づくり」をいかに全国に進めるかの試金石ともなります。

今回の国土交通白書は、復興を通じた国土交通行政の転換をテーマとして取りまとめています。



検索 平成 23 国土交通白書

お問い合わせ 総合政策局政策課政策調査室  
TEL:03-5253-8111 内線24282、24283  
FAX:03-5253-1548

### 第I部 復興を通じた国土交通行政の転換

～持続可能で活力ある国土・地域づくりへ向けて～

- 第1章 震災からの復興と国土交通行政の転換
- 第2章 持続可能で活力ある国土・地域づくり

### 第II部 国土交通行政の動向

- 第1章 時代の要請にこたえた国土交通行政の展開
- 第2章 観光立国の実現と美しい国づくり
- 第3章 地域活性化の推進
- 第4章 心地よい生活空間の創生
- 第5章 競争力のある経済社会の構築
- 第6章 安全・安心社会の構築
- 第7章 美しく良好な環境の保全と創造
- 第8章 戦略的国際展開と国際貢献の強化
- 第9章 ICTの利活用及び技術研究開発の推進

## 02 「一本の道に日本の底力」 ～平成24年度「道路ふれあい月間」入選標語決定!～

8月1日から31日までは「道路ふれあい月間」です。多くの方々に改めて道路とふれあい、道路の役割や重要性について考えていただき、道路を常に広く、美しく、安全に利用する気運を高めることが目的です。

活動の一環として、広く一般から本月間の推進標語を募集し、7歳から96歳までの幅広い世代、7,798作品の応募をいただきました。

三好礼子氏(エッセイスト・国際ラリーリスト) やすみりえ氏(川柳作家・文化庁審議会分科会委員) 吉岡耀子氏(交通・環境ジャーナリスト)の3名による審査が行われ、[小学生の部] [中学生の部] [一般の部] の各部門毎に、最優秀賞1作品と優秀賞2作品を選定しました。

検索 平成 24 道路標語

お問い合わせ 道路局道路交通管理課  
TEL:03-5253-8111 内線37424  
FAX:03-5253-1617

### 最優秀賞

- 小学生の部** 「つなげよう 僕の道から きみの道」  
中村 安里さん 9歳(千葉県)
- 中学生の部** 「いつの日も 歩きたくなる 道がある」  
鈴木 裕也さん 14歳(神奈川県)
- 一般の部** 「一本の 道に日本の 底力」(代表標語)  
今田 紗江さん 44歳(徳島県)

### 優秀賞

- 小学生の部** 「ありがとう 未来へ続け この道路」  
大矢 裕介さん 12歳(新潟県)
- 「この道で 今日も出合いが 生まれてる」  
池上 流彩さん 12歳(鳥取県)
- 中学生の部** 「決めたから この道行くよ どこまでも」  
山本 桃子さん 14歳(富山県)
- 「人と人 つなぐところに 道がある」  
川野 友裕さん 13歳(宮崎県)
- 一般の部** 「明日もまた 道の向こうに 待つ笑顔」  
内河 裕信さん 52歳(神奈川県)
- 「うまくいく そんな風吹く 今日の道」  
前田 千文さん 42歳(石川県)

詳しい情報はこちらから

01 平成 23 年度 国土交通白書

<http://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/h23/index.html>

02 平成 24 年度 「道路ふれあい月間」 入選標語

[http://www.mlit.go.jp/report/press/road01\\_hh\\_000264.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000264.html)